

巡回監査体制再構築PJ主催

「巡回監査支援システム研修会③」に参加して

くじら税理士法人 松浦 久美

令和3年9月に第1回目が開催された、巡回監査体制再構築プロジェクトの最終回でもある巡回監査支援システム研修会(第3回)に参加させて頂きました。今回の研修会は、前回の研修において、巡回監査支援システムの有用性や機能を学び、それを実践した結果を共有する研修会でした。私個人としては、恥ずかしながらこの研修に参加するまでほとんど巡回監査支援システムを使用したことがありませんでした。前回の研修で初めて、基本的な操作方法や活用方法を学び、自分なりに巡回監査の中で使用してみましたが、あまり上手くいったとは言えませんでした。そのため、今回の研修は実践結果を共有する貴重な機会だと思い、楽しみにしていました。

実際、3時間の研修時間のほぼ半分以上をグループディスカッションに充てて頂きましたが、まだまだ時間が足りないと思うぐらい白熱したディスカッションが行えました。ディスカッションでは、各自が実践してみた結果、上手く運用できた事例や、逆に上手く運用できなかった点などを詳細に話し合い、改善点や新たな気づきを得ることができました。このプロジェクトを通じて研修に参加でき、改めて初期指導と巡回監査支援システムの運用は、質の高い巡回監査を行うために欠かせない両輪なのだと感じました。そして他の事務所の方々とディスカッションできる機会を得たことで、今自分が巡回監査を徹底するためにやるべきことやできていないことが明確になり、同じ目標を持つ仲間とともにまずは第一歩を踏み出す!という気持ちが高まりました。

また、グループディスカッションを行う前には税理士法人北浜・中西会計の中西知行先生にご講義頂きましたが、その中で巡回監査支援システムのデメリットとしてよく挙げられる点が、監査時間が長くなってしまったことであると、お話がありました。この点は、私個人も感じておりましたが、続けての「監査時間が長くなったのではなく、むしろ今までの監査が十分でなかったのではないか」との中西先生のお言葉には深く感銘を受けました。

今回のプロジェクトを通じての研修会に参加し、TKC会計人として目指すべき巡回監査の実施に少しでも近づけるよう、まずは「やってみること!」の精神を大切に、少しずつ実践していきたいと思えます。

